



園だより かけはし

キッドワールドこども園

令和7年5月1日

新年度がスタートして、早くも1か月経ちました。はじめのうちは、新しい環境に慣れず不安な表情を浮かべる子どもの姿が見られましたが、登園後、園庭や運動場に出て遊ぶことで気持ちも切り替わり笑顔が見られるようになりました。これからも、「今日は、〇〇して遊んだよ」「また明日もこども園に行きたい」と思い、毎日元気に登園できるよう一人一人としっかり関わっていきたいと思っています。

今年度もまた、5月には、保護者面談が始まります。家庭での姿や園での姿など伝え合い、連携をしっかりとって、安心して子育て楽しむことのできる園を目指していきたいと思います。



行事予定

日	曜日	園児に関すること
1	木	身体計測(3歳児ぺんぎん組、5歳児)
2	金	身体計測(3歳児いるか組、4歳児)
7	水	身体計測(2歳児めろん組)
8	木	身体計測(2歳児ぶどう組)
13	火	身体計測(1歳児さくらんぼA組)
14	水	身体計測(1歳児さくらんぼB組)
15	木	健康診断
19	月	避難訓練(消防署への通報訓練)
20	火	5歳児バス遠足(佐野植物園) 弁当日(5歳児)
21	水	3歳児バス遠足(七瀬川自然公園) 弁当日(3歳児)
22	木	身体計測(0歳児)
27	火	4歳児バス遠足(上野丘子どものもり公園) 弁当日(0・1・2・4歳児)
29	木	誕生会

弁当日について

当園で「弁当日」を設けている意味として「食育」を推進する考えがあります。

食べることは生きる上で大きな役割を担っており、子どもにとって発育や発達に欠かせないものとなっています。

お弁当を作ることは大変かと思いますが、お子さんが宝箱の蓋を開けるように目を輝かしている姿を思い浮かべながら作っていただけたら弁当作りが楽しい仕事になると思います。



お知らせ・お願い

※ 5月は年齢によって弁当日が変わります。忘れないようお持ちください。

20日(火)5歳児

21日(水)3歳児

27日(火)0・1・2・4歳児

※ 5月の保育料の納入期間は、21日(水)・22日(木)・23日(金)の3日間です。

(期限内に納入できない場合は、教頭の奥下までご相談ください。)

今日も子どもたちの部屋からチューリップの歌が響いています。子どもたちはただ元気に歌うだけではなく、両手でチューリップの花を作って踊っています。チューリップになりきって踊りながら歌っている子どももいます。

よく聞いてみると、

♪ さいた さいた チューリップの 花が ならんだ ならんだ 赤 白 黄色 どの花見ても きれいだな ♪
と歌っているのです。とっても楽しそうに弾んで歌うので、歌詞もはっきりと聴き取れます。

園庭にはこの歌の歌詞のように子どもたちが植えたチューリップが今を盛りに、どの花もきれいに光り輝いて咲いています。

子どもたちの歌が上手になってきたからでしょうか、この歌詞にはとても人を引きつける魅力があることを改めて教えられます。

「さいた さいた チューリップの 花が」。この子どもたちの声を聞きながらチューリップを見てみると、昨日咲いたチューリップは一層大きく花片を広げています。今日咲いたチューリップは今まさに花片を広げようとしています。明日咲くチューリップも蕾の中に花片を少し見せながら大きくほぐれるように膨らんでいます。それぞれに少しずつ花の開き方は違うのですが、いのちいっぱいきれいに咲いています。

「ならんだ ならんだ 赤 白 黄色」。咲いたチューリップの花は、形も色もそれぞれに分け隔てなくおのが向き向きに違和感なく並んで咲いています。「ならんだ ならんだ 赤 白 黄色」。ばらばらに並んでばらばらにいのちいっぱい咲いています。

「どの花みても きれいだな 」。それぞれの花が、それぞれの色できれいに咲いています。「どの花みても きれいだな 」。それぞれの花がそれぞれに妨げになることなく自由にいのちいっぱいきれいに咲いているのです。

このようにして歌詞を聞いていると、『仏説阿弥陀経』という経典の中にある「池中蓮華 大如車輪 青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白色白光 微妙香潔」(池の中に車輪のような蓮が咲いている。青い蓮は青く光り、黄色い蓮は黄色く光り、赤い蓮は赤く光り、白い蓮は白く光り、けがれのない素晴らしい香りを放っている。)という有名な一節が浮かんできます。

『仏説阿弥陀経』では、子どもたちが歌っている「チューリップの花」が「蓮の花」になっていますが、チューリップも蓮もそれぞれの花がそのままに香り高く輝いて、誰にも代わることでできないかけがえのない尊い存在であるということをいっているのです。つまり私たちが幸せに生きていくためには、チューリップの花が教えてくれているように「みんなちがってみんないい」(註1：金子みすずさんの『わたしと小鳥とすずと』)ということ子どもたちは先生と一緒に大きな声で楽しく一人一人違ったかけがえのない声で歌っているのです。

註1：金子みすずさんの『わたしと小鳥と鈴と』

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
とべる小鳥はわたしのように、
地面(じべた)を速く走れない。
私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんの唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

